

# あらかわ 区議会だより

No.204

平成 22 年 4 月 25 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 電話 03-3802-3111 (代表)

平成 22 年第 1 回定例会号



荒川二丁目南公園



都立汐入公園



天王公園



荒川公園

## 【第 1 回定例会日程】

- 2月17日 本会議
- 2月19日 本会議
- 2月22日 予算に関する特別委員会
- 2月23日 総務企画委員会
- 2月23日 福祉・区民生活委員会
- 2月23日 文教・子育て支援委員会
- 2月24・25日・3月1・2日 建設環境委員会
- 3月3日 予算に関する特別委員会
- 3月3日 建設環境委員会
- 3月4・5・9・10日 予算に関する特別委員会
- 3月12日 文教・子育て支援委員会
- 3月15日 建設環境委員会
- 3月17日 議会運営委員会
- 3月17日 本会議
- 3月17日 総務企画委員会
- 3月17日 文教・子育て支援委員会

区議会第1回定例会は、2月17日から3月17日までの29日間の会期で開かれました。  
区長の平成22年施政方針説明の後、本会議の1日目と2日目には、7人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。  
本定例会では、議会運営委員会提出の「荒川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部

委員会提出議案「荒川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を可決

## 区議会第1回定例会

を改正する条例」のほか、議案45件が提出され、このうち42件が可決されました(議案の審議結果は8面に掲載しています)。

### 掲載記事のご案内

区政のこころを  
一般質問要旨

小坂眞三議員(自民党)  
相馬堅一議員(共産党)  
戸田光昭議員(公明党)  
清水啓史議員(民主・市民)  
斉藤裕子議員(元気クラブ)  
小坂英二議員(尚志会)  
斉藤邦子議員(共産党)

### 5面・4面

区長の施政方針説明  
予算審査の概要  
・主な総括質疑  
・主な締めくくり総括質疑  
・予算の審査経過  
予算に対する各会派の討論

### 7面・6面

予算に対する各会派の討論  
(続き)  
委員会活動  
・議会運営委員会  
・常任委員会  
・特別委員会

### 8面

議会改革の  
方策についての答申  
意見書提出  
採択した請願・陳情  
議案の審議結果  
永年在職議員表彰



# 区政の未来をわく

## 一般質問要旨

### 区財政の展望と日暮里の街づくりについて



小坂 眞三 (自民党)

#### 区財政の展望について

都から都税収入の減額見込みが公表され、財政調整交付金の減少が懸念されるが、区はこの非常事態にどう対応するのか。また、そうした背景のもと、どのような考え方で予算編成に取り組んだのか、経過と今後の課題を問う。

都区の協議では、財源補填を強く主張し合意に至ったが、残された課題についても、さらに協議を続けていく。新年度予算案は、区民生活を守るという思いで編成しており、厳しい財政環境だが、健全な財政運営と区民サービス向上に取り組む。

全ての区民が安心して生活できるように、限りある財源を必要なる事業に充てるなど創意工夫を凝らし、メリハリのある区政運営を進めるべきと考えるがどうか。

区では、「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づき、今後も経費削減と区民サービスの向上を実現するため、積極的に行政改革に取り組んでいく。

国の第二次補正予算による景気対策や「子ども手当」など、新政権の施策に関して、区にはどのような影響があるのか問う。

区では、国の補正予算による

となり、日暮里駅前のイベント広場を活用したオープニングイベントを開催すべきと考えるがどうか。

区を広くPRするチャンスと捉え、オープニングイベントを実施し、地域の活性化や観光振興等に結び付けていく必要があると考えている。区としては、荒川区の良さを感じられるイベントの実施に向け積極的に取り組んでいく。

区では、日暮里駅前周辺地区を対象とした交通バリアフリー構想を策定し、バリアフリー化を進めているが、日暮里繊維街の活性化のために、日暮里中央通りの尾竹橋通りから東側地域の早急な整備が必要と考えるがどうか。

未整備区間のバリアフリー化

を伴う一体的な整備は必要と認識している。交通安全施設等整備事業の「あんしん歩行エリア」の制度を活用し、バリアフリー化への取り組みを進めていく。

土地開発公社が取得した日暮里区民事務所の隣接地を、観光案内の機能も含めた日暮里地域の核施設として活用することで、街の活性化に大きく寄与すると考えるがどうか。

今後、提案の趣旨も踏まえ、地元町会をはじめ、区民の意見を聞きながら、有効な活用方法を検討していく。

その他の質問項目

町会の活性化について

環境行政の取り組みについて

児童虐待防止対策について

### 平成22年度予算案と新たな視点から下町文化の継承と展開について



戸田 光昭 (公明党)

#### 平成22年度予算案について

100年に一度といわれる不況で、区民生活が深刻な状況にある中、平成22年度予算は、前年度から予算規模が減少しているが、このたびの予算編成における基本的な考え方を問う。

平成22年度予算は、「財源の重点的、効果的な配分」、「事務事業の見直し」、「中長期的視点からの財政運営」の三つの考え方を基に編成した。特別養護老人ホームや保育施設の整備など、区民生活に関わるもの等は確実に予算措置している。

景気後退の影響で、都では法人二税を中心に都税収入が減少

し、都税を原資とする財政調整交付金も減少するとの発表もされている。財政調整交付金の確保に向け、23区が連携して取り組むべきと考えるが、区の認識を問う。

都区協議は、区市町村振興基金の活用枠拡大で整ったが、財政調整制度は特別区の財政に大きな影響を及ぼすため、より踏み込んだ協議が必要と考えている。主張すべきは主張し、区民の幸福のための施策は着実に実現できるように、必要な財源確保に取り組む。

国では、予算編成に先立って事業仕分けが行われ、各自治体にかかわる問題も起こっているが、区民生活への影響について問う。

理施設職員の賃金の保障を  
 ○特養ホーム増設に伴い、要介護四・五、胃ろうの方の入所を可能にする条件整備を

### 区民の住宅支援と家具転倒防止策、南千住東部地域の子育てと街づくりについて



相馬 堅一 (共産党)

#### 区民の住宅支援と高層ビルなどの家具転倒防止対策への支援

区営・区民住宅など公的賃貸住宅の収入基準と家賃設定が実態から逸脱している。家賃設定を見直し、空き家対策を検討すべき。

区民住宅の使用料は、不動産の鑑定調査を実施し、検討を行う。また、公共賃貸住宅の情報提供サイトでの区民住宅の情報提供など、空き家対策に努めていく。

区民の住宅支援と高層ビルなどの家具転倒防止対策への支援

木造密集地域での地区計画に、住み替え促進のための公的住宅や家賃補助を組み込むべき。

地区計画に、公的住宅等を定めるには、住民の合意、用地確保や土地利用の方針決定が前提となることから、難しいと考える。

市街地整備指導要綱に、防災力強化に取り組みマンシヨンの認定制度を盛り込むとともに、家具転倒防止補助制度を区内事業者の

協力を得て、実施すべき。

防災力強化マンシヨンの認定制度は、要綱の見直しの中で検討していく。家具転倒防止制度は、関係部署と協議し、検討していく。

南千住東部地域の子育てと街づくりについて

ふれあい館型のコミュニティ施設では、高齢者と乳幼児・児童のニーズを満たしきれない。児童福祉法に基づく子どもの城、児童館を南千住地域に設置すべき。

ふれあい館は、地域コミュニティ施設であると同時に、児童福祉法に定める児童館に位置づけられており、児童健全育成の場として、児童事業を推進していく。

保育園の定員緩和に歯止めをかけ、改善を図る必要性について、

区は、国の補助制度の動向などの情報収集に努め、区の施策に適切に反映させていく。仮に事業仕分けの結果に伴い、区への補助金が減額になるような場合には、基礎自治体として、区民の立場に立つた最善の対応をしていく。

新たな視点からの下町文化の継承と展開について

荒川区芸術文化振興プランが策定され、新たな文化振興策への前進と高く評価する。歴史的に見て、荒川区には、紙芝居作家が住み、映画の撮影所があったことなど、地域に根ざした芸術文化ははぐくむ土壌が備わっている。これらを積極的に活用して、区ならではの豊かな生活文化を全国に向けて発信すべきと考えるがどうか。

さらに、新たな「紙芝居劇場」「ぬりえ美術館」、都電沿線のバラなど、観光・文化のシーズ(種)を繋ぎ、都電沿線のまちづくりを検討すべきと考えるがどうか。

区には、誇るべき財産として、「ぬりえ」や「紙芝居」などの文化があり、子どもたちのためにもしっかりと受け継ぎ、心豊かなまちにしていきたいと考えている。

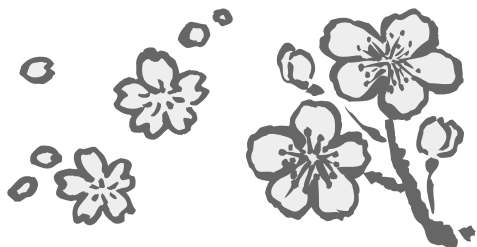
現在、荒川区の下町文化、伝統に裏打ちされた芸術文化を継承し、さらに、都電や荒川の商店街などの「インフラ」を活用して、にぎわいを創出し、区の魅力を増やしていくという動きがある。都交通局の都電新型車両の導入や、大学の都電と商店街のリンクに関する研究発表である。区としては、提案の趣旨に沿い、下町文化の振興に向け、努力していく。

その他の質問項目

高齢者福祉の充実について

教育問題について

環境問題について





### 新卒就職者への応援策と自転車加害者事故について



清水 啓史  
(民主・市民)

新卒就職者への応援策について

問 小中学校で行っている「街の先生教室」や「勤労留学」などの職業教育をさらに進め、就職の時期に際し、小中学校卒業生の先輩へOB・OG訪問ができるような仕組みを構築してはどうか。雇用のミスマッチという現状もあり、人不足の中小企業にとっても、新たな採用ツールになるのではないかと。区に住む学生、区の学校を卒業した学生という視点から、地域ネットワークを使って、就職活動

をサポート・応援する仕組みの検討について、区の見解を問う。

答 厳しい雇用環境が続いている状況で踏まえての質問と受け止めているが、小中学校や教育委員会との組織的な対応は難しい課題があると考えている。しかし、質問の趣旨が生かせるよう、各学校の同窓会やOB会等の場で、就職支援の観点から情報交換がなされるような配慮や工夫を促していきたい。また、「勤労留学」など、区内小中学校の職業体験は、将来の

職業や進路を考える大切なステップであるため、地域の事業者と連携を深め、充実に努めていく。

問 自転車加害者事故について

答 自転車は、誰でも気軽に乗ることができ大変便利な交通手段だが、近年、自転車利用者が第一当事者、加害者となる事故が増している。自転車は、自賠責保険が義務づけられていないため、事故の加害者になった際には、賠償額が大きくなる恐れがあり、区で扱う自転車賠償を含む区民交通傷害保険や新たな保証制度の検討も必要である。また、自転車が交通加害者となることを認識させ、その上で事故防止への啓発などを一層進めることが必要と考えるがどうか。

答 区では、自転車利用者が加害者になることのないよう、警察と連携し、関係機関の協力のもと、

自転車利用のルールを守ることを徹底していくべきと考えている。今後も、自転車事故の減少に向け、自転車運転免許講習会を始め、区報やホームページ、自転車利用者への講習会の開催などにより、交通安全に積極的に取り組んでいく。併せて、区民交通傷害保険の自転車賠償責任プラン等も情報提供していく。

その他の質問項目

○自治体の行政と議会のあり方など、地方自治法改正に向けた動きについて  
○昨年発生した新型インフルエンザ対応策の検証について  
○区内再開発の状況及び評価

### 医療・健診がきちんと受けられるようにするために、CO2削減のための取り組みについて



斉藤 邦子  
(共産党)

医療・健診がきちんと受けられるようにするために

問 旧老人医療制度と同様に、後期高齢者医療制度の保険料滞納者に資格証明書を発行しないこと。東京都後期高齢者医療広域連合は、資格証明書の発行にあたっては、交付基準の厳格かつ慎重な運用で対応していく。

答 把握し、東京都保険者協議会などに、地元医療機関での受診や、健診項目を国保並みに引き上げることにについて、働きかけるべき。

問 区は、保険者協議会と地区医師会が締結した集合契約健診の項目を充実させた。今後も、区民全体に健康づくり活動支援を充実させ、健康増進に取り組んでいく。

問 支払い困難な低所得者が必要

な受診を控えることのないよう、国民健康保険一部負担金の免除制度等の活用を促進すべき。

問 医療機関・国保・生活保護の連携強化を内容とする、厚生労働省の通知を踏まえた一部負担金減免規定の運用に努めていく。

問 CO2削減のための荒川区の取り組みについて  
答 中小企業の省エネ装置導入の助成制度と専門的知識を持ったスタッフの派遣を検討すること。  
問 国や都で省エネルギー診断を実施しており、区はこの結果に基づいた設備導入費用の一部助成を予算計上している。

問 省エネ建築物の普及のために、地元業者を活用した区独自の助成制度を検討すべき。

### 「戦後最大の経済危機」のもとで西川区政はどのような方針をとるのか。5年間をふまえて問う。



斉藤 裕子  
(元気クラブ)

危機的な状況にある区内中小・零細企業をどう支援するのか。

問 ①中小企業金融円滑化法の区内の運用状況を把握しているか。  
②多額の代位弁済を抱える東京信用保証協会にかかる保証制度が必要ではないか。  
③追加融資の足かせとなる自己資本比率の緩和を国に求めるべき。  
④中小企業の東アジア市場進出に支援が必要では。

答 ①関係機関と連携し、国際化の取り組みを支援しており、国へも必要な支援策を要望していく。

問 ①区内大型店の店舗面積はどれ程拡大したのか。②これ以上の出店を規制する条例を制定すべきだ。③商店街の空き店舗を区が丸ごと借り上げ、休憩所などを運営してもらってはどうか？  
答 ①区内の大型店は28店舗、5万5千平米強。42年前の13倍。  
②現行法上、出店の規制はできないため、地域環境保全への配慮等を求めていく。  
③高齢者福祉や子育て支援等への空き店舗活用策に

対する支援の創設や拡大など、柔軟に対応する。

問 条例違反の建築計画をどうする？

答 若い世代の区内居住を支援せよ。  
問 ワンルームマンション規制条例の施行前に申請した建築確認を使い、2年以上も経って工事を進めようとしている。区の対応は？  
答 この計画は、駆け込みで建築確認申請し、条例の網から逃れたと認識している。区は、条例や要綱に適合するよう指導していく。

問 地域行事への参加などを条件に、所得の少ない若者への家賃助成等で定住を促進してはどうか？

答 経済情勢の悪化による若い世代の住宅困窮者が増えつつあり、今後、支援制度を研究していく。

その他の質問項目

○荒川区版「小さな政府」を今後も続けるのか。  
○税制と財政出動のあり方を問う。

### 教育再生を荒川区から、区資源の有効活用・行政執行適正化について



小坂 英二  
(尚志会)

教育再生を荒川区から

問 学校教育では、正しい史実、世界情勢を教え、日本精神や大和言葉、御皇室といった日本人の根本について学ぶ時間を確保すべき。

答 わが国の歴史や文化を理解させる教育は、学習指導要領に基づき、適正に実施している。

問 愛国心、道徳心を育てる教育をしつかりと行うべき。また、戦没者追悼式へ生徒が参加する機会を設けてはどうか？

答 区では、道徳教育を学校教育の重点として、取り組んでいく。戦没者慰霊祭への参加は、授業時数確保の点から難しいと考える。

問 医療・健診がきちんと受けられるようにするために

問 旧老人医療制度と同様に、後期高齢者医療制度の保険料滞納者に資格証明書を発行しないこと。東京都後期高齢者医療広域連合は、資格証明書の発行にあたっては、交付基準の厳格かつ慎重な運用で対応していく。

問 社会保険家族の健診受診率を

問 三河島駅前再開発地区へ賑わいの拠点として、ユースホステルの誘致を進めてはどうか？

答 現在、民間事業者の進出意向調査を実施しており、今後、議会の意見も聞きながら、様々な視点から検討していく。

その他の質問項目

○区民の心身の健康・安全をしっかりと守る

○環境先進都市に向けて

問 公園において、時間帯別ルールを作り、キャッチボール等が可能な時間を設けてはどうか？  
答 提案は、公園の有効活用が図れる方法であるが、施設の再整備、地域住民の協力が必要である。今後、地域住民の参加による公園管理のあり方を検討していく。



あら坊

詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページで平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



# 平成22年度 予算を可決

平成22年度一般会計予算ほか4特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成・委員長＝服部敏夫、副委員長＝小林行男）を設置し、2月24日から3月10日まで審査を行い、いずれも可決されました。



## 予算の審査経過

- 一般会計予算  
（2月24日～3月10日）
- 2月24日
  - 予算大綱説明（副区長）
  - 総括質疑（7会派）
  - ※ 主な質問項目は別掲
  - 歳出審査（議会費・総務費・民生費）
- 2月25日
  - 歳出審査（民生費）
  - 3月1日
    - 歳出審査（民生費）
- 3月2日
  - 歳出審査（民生費・衛生費）
  - 3月4日
    - 歳出審査（衛生費・環境清掃費・産業経済費）
  - 3月5日
    - 歳出審査（産業経済費・土木費）
  - 3月9日
    - 歳出審査（土木費・教育費）
  - 3月10日
    - 歳出審査（教育費・公債費）

- 諸支出金・予備費
- 歳入審査（一括審査）
- 締めくくり総括質疑（7会派）
- ※ 主な質問項目は別掲
- 採決
- 修正案（共産党提出）
- 採決の結果 否決
- 採決の結果 可決
- 国民健康保険事業特別会計予算
- 老人保健医療特別会計予算
- 後期高齢者医療特別会計予算
- （3月10日）
- 審査
- 採決
- 採決の結果 可決
- 採決
- 採決の結果 可決
- 介護保険事業特別会計予算
- （3月10日）
- 審査
- 採決
- 採決の結果 可決



## 主な総括質疑

### 自民党

菅谷 安男 委員

- ・ 区税収入の減少が見込まれる中での新年度予算について
- ・ 東京スカイツリーの完成を見据えた観光振興策について
- ・ 東京都における教員の採用、昇任の状況について
- ・ 区民への地上デジタル放送に関する説明について

### 自民党

鳥飼 秀夫 委員

- ・ シルバー人材センターの機能を強化することについて
- ・ あらかわ地域大学の講師に高齢者を活用することについて
- ・ 「協力社会」構築に向けたシルバークラブの活用について

### 共産党

小島 和男 委員

- ・ 区民の厳しい生活の実態に対する区の認識について
- ・ 高齢者の医療、介護に対する負担軽減策について
- ・ 新年度の保育園入所の現状と待機児への対応について

### 公明党

武藤 文平 委員

- ・ 西尾久地域の広域避難場所変更への区、JRの対応について
- ・ 避難所としての学校の防災対策について
- ・ 耐震診断、耐震補強工事、耐震建て替え等の促進について

### 民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・ 母子家庭を支援する企業への総合評価方式での優遇について

### 元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・ 中小建設業の経営を圧迫する低価格契約の改善と育成・支援策

### 尚志会

小坂 英二 委員

- ・ 人為的温暖化論を鵜呑みにする危険性について

### 正論の会

浅川 喜文 委員

- ・ 心身に深刻な影響を及ぼす児童虐待への対応について

総括質疑の模様をご覧になりたい方はDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

人々の主体的な参加、協力が不可欠であります。荒川区には、下町人情という大切な財産があり、これを「協力社会」へと昇華させていくため、荒川区にかかわるすべての方々が、地域社会をささえる良きパートナーとして、手を携えて、区政を力強く推進していかなくてはなりません。

主要施策としては、生涯健康都市では、新型インフルエンザ対策「支えあい見守りあいネットワーク事業」の充実を図り、子育て教育都市では、水痘瘡とおたふくかぜの予防接種の助成開始（仮称「あらかわ地域大学」の開校に取り組みます。産業革新都市では、産

たなバリアフリー基本構想に基づき、重点的に整備する地区の計画策定や、景観計画の策定、防災区民組織への新型D級ポンプの更新配備を行います。そのほか、区民税等のコンビニエンスストア等での収納開始、区の公式ホームページのリニューアルを実施します。

いずれも、荒川区民の幸福を実現する上で、基礎自治体として成さねばならない事項を最優先にし、さらに、緊急対応的の要素、長期的な視点で考える必要がある事項を予算化したものです。常に優しい言葉を用い、他人の長所に着目し、さらに、二つの手のうち、一つの手は他者を助けるために使うことを心がけるような心があれば、優しさの連鎖が生まれ、温かな情愛にあふれた地域社会になるものと確信しています。

# 平成22年 区長の施政方針説明

（一部抜粋・要旨）

おかげさまで、このたびの平成22年度施政方針説明会に、区民の皆様から、大変なご声援をいただきました。今後、この方針に基づき、区政の刷新を図ってまいります。

平成22年第1回定例会の開会にあたり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。「ふるさと」を題材にした詩や曲は、数多く作られてきました。遠く離れていても、いつも心のどこかに陽だまりのようにある安らぎの地、日々の仕事の疲れを癒し、明日への活力を取り戻せるような憩いの場といった心情を持つのは、だれにも共通したことであり、それがこうした作品を生み出すのでしよう。私は、この荒川区を「ふるさと」、区民の皆様を温かく迎え、優しく包み込むことができるような街にしていければと考えております。基本構想が掲げる「幸福実感都市」は、このような街であると考えます。

しかし、今日のわが国の状況は、回復の兆しが見えない不況、「格差」の拡大と連鎖、閉塞感や失望感といったマイナスの感情が広がっているのではないかと、強い危機感を持っています。格差や社会的排除に対抗する考

え方を具体化させていくためには、地域社会を構成するすべての

人々の主体的な参加、協力が不可欠であります。荒川区には、下町人情という大切な財産があり、これを「協力社会」へと昇華させていくため、荒川区にかかわるすべての方々が、地域社会をささえる良きパートナーとして、手を携えて、区政を力強く推進していかなくてはなりません。このたびの平成22年度予算案

は、「区民の安心の砦」として、暮らしをしっかりと支え、幸福実感都市あらかわの実現に向けて着実な前進を図る予算」と位置付け、区民の幸福のため、持続可能で将来の財政負担にも堪え得る財政の健全性を確保した予算となっております。

学連携による中小企業支援を充実します。環境先進都市では、低炭素型の地域社会の構築に取り組み、区が管理する街路灯をLED灯へ交換していきます。文化創造都市では、交流都市フェア、町会・自治会のイベントへの助成を充実します。安全・安心都市では、新



# 主な締めくくり総括質疑

自民党

北城 貞治 委員

- ・公債費比率の推移、起債の活用  
の基本的な考え方について
- ・公債費比率と経常収支比率を踏  
まえた今後の財政運営について
- ・学校での少人数指導に対する区  
の認識について
- ・子どもの貧困問題の調査研究の  
進捗状況について
- ・要介護高齢者の住まいとしての  
民間賃貸住宅の活用について
- ・発達障害者、高次脳機能障害者  
に対する支援について
- ・接遇の重要性を職員に認識させ  
る方策について

共産党

横山 幸次 委員

- ・住宅困窮者の現状に対する認識  
と家賃助成の検討について
- ・国民健康保険資格証明書の発行  
状況について
- ・認可保育園の入園待機児の状況  
と今後の対応について

公明党

中村 尚郎 委員

- ・戸籍のコンピュータ化の成果  
及び今後の展開について
- ・放置自転車対策としての駐輪場  
使用料設定の検証について
- ・汐入地域の中学校での特別支援  
教育の検討について

民主・市民

清水 啓史 委員

- ・本庁舎耐震工事等の契約におけ  
る区内事業者の活用について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・政府の「地域主権戦略会議」は区  
と区民に利益をもたらすのか？

尚志会

小坂 英二 委員

- ・災害対策本部長の補佐機能強化  
と避難所運営について

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・子ども家庭支援センターにおけ  
る児童虐待防止策について

# 平成22年度 予算の概要

単位：千円

年度区分	平成22年度 予算額	平成21年度 予算額	増減	増減率 (%)
一般会計	81,780,000	86,200,000	△4,420,000	△5.1
特別会計				
国民健康保険事業	24,547,000	26,175,000	△1,628,000	△6.2
老人保健医療	56,000	104,000	△48,000	△46.2
後期高齢者医療	3,732,000	3,735,000	△3,000	△0.1
介護保険事業	12,656,000	12,375,000	281,000	2.3
計	122,771,000	128,589,000	△5,818,000	△4.5



# 平成22年度予算をどう評価する

3月17日の本会議において、平成22年度一般会計予算について各党派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

## 賛成

事務事業の再点検を図り、重点施策を推進する事業を組み入れた予算を評価

自民党

平成22年度予算について、自由民主党荒川区議会議員団は、区議会第一党として、今後の財政運営を想定しながら、不安ではなく安心を、厳しさではなく心の余裕を必要とする新しい時代にふさわしい荒川区の実現に向けて、6項目の重点施策をはじめとした、224項目にわたる要望をした。この要望を踏まえ、区は、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に、財源を重点的かつ効果的に配分する一方、内部努力のさらなる徹底や、事務事業全般の再点検、再構築を図った。この結果抑制できるものは可能な限り抑制しながら、わが区議団が強く要望した重点施策を推進するための新規事業、レベルアップ事業を組み入れられたことを高く評価する。

精度を上げた上でのがん検診有料化、家庭ごみ有料化、リサイクルセンターの早期設置なども重要課題であり、前向きな検討を望む。各分野について、産業と観光では、山形大学等との産学連携を強化する予算を評価する。「成田スカイクセス」開業に向けた日暮

里のアップルや、日暮里から「東京スカイツリー」への直通バス運行を実現する努力を要望する。教育・文化では、学校図書館の環境整備や国語力向上、読書活動の推進を高く評価する。学校パワーアップのさらなる充実、小学校低学年の少人数指導の積極的検討を願う。新図書館、文学館、子供施設整備の予算も評価する。開設に向け、努力していただきたい。福祉・健康では、入所待機者解消に向けた区内6、7か所目の特別養護老人ホーム整備経費を高く評価する。関連して、ショートステイの環境整備を要望する。良い歯の子供たちに報奨バッチを配布する予算を大いに評価する。今後は、児童・生徒の給食後の歯磨き全校実施を期待する。

子育てでは、おたふく風邪、水疱瘡の予防接種費用助成、放課後

要望する。高齢者福祉の分野では、特別養護老人ホームが整備され、介護予防事業の充実が図られている。産業振興策のプレミアム付き区内共通お買い物券は、子ども手当支給に合わせた工夫など検討を要望する。環境対策では、街路灯へのLED灯導入、安全・安心な街づくりでは、治安対策の充実が図られている。さらに商店街への防犯カメラ設置の研究を要望する。防災対策では、「救急医療情報キット」が予算化されている。わが党の主張を取り入れた予算案を高く評価する。今後、基金と起債の活用を含め、将来を見据え

子どもプラン事業拡大を評価する。今後、学童クラブの趣旨も生かした放課後子どもプランへの統合を期待する。まちづくりでは、三河島駅前北地区再開発において、区は最大の地権者として、指導力を発揮した積極的な取り組みを期待する。区民の評価の高いイルミネーション設置費用は予算計上を要望する。そのほか、予算特別委員会でのわが区議団からの提言や意見について積極的な検討と対応を望む。最後に、起債活用の余力もあり、弾力性のある財政状況が維持されていることは、高く評価する。そのことも踏まえ、複合施設建設などへの愛区債活用の積極的検討、実施を期待する。わが区議団は、執行機関との緊張関係を保ちながら、力強く区政を支え、新年度の予算執行を見守っていく。

賛成

区民の幸せのため、持続可能な区政を推進しようとする堅実な姿勢に敬意を表する。さらに、行財政改革の取り組み強化、推進により、安定した財政運営と施策の充実を図り、「区民が幸せを実感できる荒川区」の実現に向けた積極的な取り組みを強く要望する。

公明党

教育分野では、複合施設建設準備の経費、いじめ・不登校問題対策の充実、子育て支援の分野では、放課後子どもプランの実施拡大、健康促進の分野では、新型インフルエンザ対策費が盛り込まれている。また、子宮頸がんワクチン接種の助成をいち早く導入するよう

中長期の財源見通しを立て、健全な財政運営を維持していくよう要望する。また、本予算委員会でのわが党の要望、提案も早急に検討していただき、区民生活の向上、「区民のための区政」実現に向け、一層努力していくことを強く要望して、賛成討論とする。





# 反対

深刻さを増す区民の暮らしを守る基礎的自治体・区の役割を発揮する予算を求める

**共産党**

新年度予算案に反対する。格差と貧困を拡大した構造改革の傷跡が区民を直撃し区民生活も深刻さが増しており、暮らしを守る基礎的自治体・区の役割発揮が求められた。特別養護老人ホーム増設、おたふく風邪・水痘の予防接種助成などは、評価する。しかしわが党が提案した、高齢者の保険料負担軽減、教育費公費負担拡充などは必要であり、原案の不十分さを指摘せざるを得ない。

また、職員の非常勤化、民間委託の推進は、公的責任をあいまいにし、サービス低下につながりかねない。区の非常勤職員の待遇改善は評価するが、住民福祉、サービスの基本は人であることを社会の共通認識にすべき。

守り、子どもの貧困へと進ませないためにも重要。また、南千住東部地域に児童事業を専門に実施する施設の設置を求める。介護と福祉では、介護職・専門職確保に対する区独自の支援が必要。精神障害者支援センターは、相談充実のため、増設を求める。まちづくりと産業では、これまでの拠点開発の問題点を明らかにし、無秩序な大型店出店の影響が深刻な地域商店や業者の営業に光をあてること、さらに公的住宅を弱者が利用できるような改善を求める。新型インフルエンザ対策は、情報収集と即応体制の強化、ワクチンの在庫状況の把握と区民への周知が必要である。教育では、少人数学級への推進に向け、区として、積極的に行動を起こすことを求める。

# 反対

中途半端で効果が見込めない財政出動。西川区長が主張する『所得の再配分』は実行できるのか。

**元気クラブ**

商店街振興と区民生活支援にプラスとなる「プレミアム付き商品券」は超党派で継続・拡大を要望したが、予算に盛り込まれず実現しなかった。他区で実施する所得の低い世帯への保育料無料化や若者への家賃助成のように、効果の

ある財政出動をしたらどうなのか。多くの区民に増税となった地方税フラット化をやめ、応能税制にカジを切ってこそ、『所得の再配分』である。子ども手当と引き替えの所得税・住民税控除廃止は増

税で、政府に政策変更を求めるべきだ。再開発には厳しい検証と見直し、介護保険は現場の実態把握と支援を求める。2百名規模の保育園増設は危険であり反対だ。税・保険料滞納の背景にある失業・多重債務・病気などの解決を支援せよ。



# 賛成

真に必要なものを取り入れ、着実な施策展開を図る予算案に賛成

**尚志会**

各分野で着実な施策展開を図る平成22年度予算案は、多くのニーズを吸い上げながらも過大な支出を抑えた堅実な予算案となっており、大いに評価する。

予算執行にあたり、指摘すべき点を述べる。まず、行政が区民の依存心を高めたり、生き抜く力を

損ねるような姿勢をとってはならない。次に、行政は歴史の重みをきちんと踏まえ、その上で意思決定しなければならぬ。教育分野では、社会の中では通用しない「偽善」に基づいた授業や学校運営をやめ、「正直者が馬鹿を見ない」学校にしなければならない。以上の点に加え、尚志会が委員会、本会議において、各分野で指摘した事項への特段の留意を要望し、賛成討論とする。

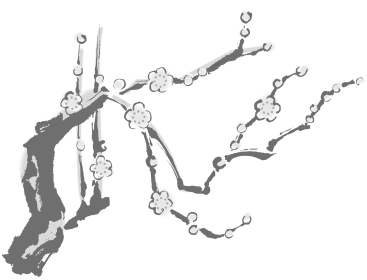
# 賛成

堅実な予算案を評価、区民の心に寄り添う政治を期待する

**民主・市民**

来年度一般会計予算総額は、今年度予算から44億2千万円減の817億8千万円だが、税収の減も見込まれていることから、堅実な予算案といえる。「区民の幸福のために、持続可能で将来の財政負担にも堪え得るだけの財政の健全性を確保した予算」という基本的な考え方を評価する。地方自治体の責務として、持続可能で、地

域経済を活性化する予算を求めたい。予算委員会で繰り返し述べた、日本学術会議の提言「子どもが外で群れ遊ぶ経験の欠如が、子どもの危機をもたらしている」という観点から、子育て・学校・公園・道路・環境など、区政の全ての分野で、「荒川区として、子どもの危機に何ができるか」という命題



に取り組んでほしい。「温かさと優しさに包まれたふるさと荒川」の実現を目指し、そして、区民の心に寄り添う政治を期待して、賛成討論とする。

# 賛成

自主財源強化への努力、指摘した事業の実施を期待し、賛成

**正論の会**

歳入の45%を特別区交付金に委ねる区として、なお一層財政運営の堅実性保持に努める必要がある。区の歴史的・地理的条件による自主財源の脆弱性は、未来の区民にとって、自己実現達成の障害要因になりかねない。自主財源強化への不断の努力が、私達に課せられた責務であり、区長ともども努力していく。

歳出では、児童虐待防止に向けた子ども家庭支援センターの人材強化と保健所との連携強化、病後児保育の拡大と病児保育の整備、鉄道を利用した商店街のPRや商店街への図書館等の設置、小学校への家庭科講師派遣を強く求める。このほか、区の発災時の事業継続計画策定など、指摘した事業の実施を求め、賛成とする。

# 委員会活動

10月15日～3月17日

平成21年第3回定例会終了後から平成22年第1回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

## 議会運営委員会

- 11月11日 第4回定例会について
- 11月26日 行政視察の集約
- 11月26日 第4回定例会について
- 本会議における出席説明員について

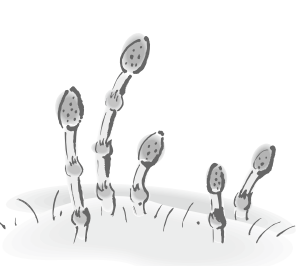
## 常任委員会

- 10月27日 幹部職員の発令
- 【所管調査事項】
- 都区間の財源配分を巡る協議経過
- 平成21年度荒川区一般会計補正予算(第2回)にかかる事業実施
- 平成21年特別区人事委員会勧告の概要
- 11月4日～6日 大規模商業施設の出店

## 総務企画委員会

- 11月11日 第1回定例会について
- 11月12日 議会改革に関する検討
- 2月12日 第1回定例会について
- 3月15日 第1回定例会最終日について
- 議会日程について

- 11月11日 第4回定例会について
- 11月22日 議会改革に関する検討
- 12月9日 第4回定例会最終日について
- 議会日程について
- 1月22日 議会改革に関する検討
- 1月28日 議会改革に関する検討
- 2月1日 第1回定例会について
- 2月12日 議会改革に関する検討
- 2月12日 第1回定例会について
- 3月15日 第1回定例会最終日について
- 議会日程について
- 11月16日 第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- 荒川区区民栄誉賞被顕彰者及び顕彰
- 総合評価方式競争入札の試行
- 11月30日 〔議案審査〕4件
- 12月1日 〔議案審査〕4件
- 〔議案審査〕4件
- 【所管調査事項】
- 町屋七丁目用地に関する土地の面積配分





・建設共同企業体を構成する企業の経営状況が悪化した場合の取り扱い  
12月15日～16日  
・行政視察を実施（山形大学工学部「産学連携の取り組み」）  
1月13日

【陳情審査】4件  
2月3日  
・第1回定例会提出予定案件

【所管調査事項】  
・あらかわ区政経営戦略プラン（平成22年度版）の策定  
・適正な債権管理に向けた取り組み  
2月8日

【所管調査事項】  
・第34回荒川区世論調査結果  
・ニュータウン事業の推進  
・本庁舎耐震補強ほか改修工事の実施  
・本庁舎耐震改修工事に伴う荒川二丁目用地を活用した臨時駐車場の設置  
・非常勤職員制度の新たな見直し  
・大規模商業施設の出店に関する状況報告  
2月22日

【議案審査】11件  
【所管調査事項】  
・都区財政調整協議結果  
・荒川区シンボルキャラクターの決定  
3月17日

【議案審査】1件  
3月17日

### 文教子育て支援委員会

10月28日  
【所管調査事項】  
・「スクールニューディール構想」関連補正予算に係る事業実施  
・第30回記念「あらかわの伝統技術展」の開催  
・「荒川総合スポーツセンター」

の指定管理者候補者の選定結果  
あらかわ子育て応援店・企業認定制度  
子育て応援特別手当（平成21年度版）  
放課後子どもプラン事業の委託先の選定方法  
南千住地域における認証保育所事業者の推薦候補者の選定結果  
区立南千住保育園の指定管理者選定の実施  
11月4日～6日  
・行政視察を実施（岡山県倉敷市「放課後子ども教室」、島根県松江市「総合型地域スポーツクラブ」）  
11月17日  
・第4回定例会提出予定案件



汐入東小学校・汐入こども園

【議案審査】1件  
12月4日  
【議案審査】2件  
【所管調査事項】  
・「次世代育成支援行動計画（後期計画）」策定の進捗状況  
・教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果  
・学校選択制による希望校申込結果及び幼稚園等入園申込状況  
3月12日  
・区内視察調査（汐入東小学校・汐入こども園、南千住保育園）  
3月17日  
【議案審査】1件

### 福祉・区民生活委員会

10月27日  
【所管調査事項】  
・区民交通傷害保険料の改定  
・区税等の支払方法の拡充  
・障がい者地域生活支援施設の整備及び運営事業者選定プロポーザルの選定結果  
（請願審査）4件  
11月16日  
・第4回定例会提出予定案件  
【所管調査事項】  
・「南千住駅前ふれあい館」指定管理者候補者の選定結果

・荒川総合スポーツセンター内食堂等事業者に関する調査結果  
1月14日  
【所管調査事項】  
・荒川区立南千住保育園指定管理者候補者の選定  
・行政視察の集約  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
【所管調査事項】  
・（仮称）あらかわ地域大学構想案  
2月23日  
【議案審査】2件  
【陳情審査】1件  
【所管調査事項】  
・尾久八幡中学校及び区営区民運動場の基本設計  
・平成22年度全国学力・学習状況調査  
3月12日  
・区内視察調査（汐入東小学校・汐入こども園、南千住保育園）  
3月17日  
【議案審査】1件

・「荒木田ふれあい館」指定管理者候補者の選定結果  
・「西尾久ふれあい館」指定管理者候補者の選定結果  
生活保護の母子加算の復活  
（陳情審査）1件  
意見書案について  
12月1日  
【議案審査】4件  
【陳情審査】1件  
【所管調査事項】  
・（仮称）南千住区民事務所の開設  
・法人立特別養護老人ホームの整備  
・屋外で活動する猫対策事業の充実  
12月14日～16日  
・行政視察を実施（長崎県長崎市「市民活動センター（ランタナ）」の実施状況、長崎県佐世保市「バリアフリー生活館の実施状況」、長崎県佐世保市四ヶ町商店街協同組合「地域コミュニティの推進及び地域活性化における商店街の役割」、福岡県大野城市「徘徊高齢者等位置検索サービスの実施状況」）  
1月13日  
【所管調査事項】  
・（仮称）南千住ふれあい館の設計案  
・（仮称）町屋ふれあい館の設計案  
・（仮称）東日暮里三丁目ふれあい館の設計案  
2月3日  
・第1回定例会提出予定案件  
【所管調査事項】  
・峡田ふれあい館の設置  
・荒川区区民ひろば館条例の一部改正  
・（仮称）町屋三丁目障がい者就業支援施設的设计案  
・後期高齢者医療制度における保険料  
特別区国民健康保険料に係る賦課方式の移行  
（陳情審査）3件  
2月22日  
【議案審査】10件  
【所管調査事項】  
・（仮称）石浜ふれあい館の設計案  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

課方式の移行  
（陳情審査）3件  
2月22日  
【議案審査】10件  
【所管調査事項】  
・（仮称）石浜ふれあい館の設計案  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

### 建設環境委員会

10月28日  
【所管調査事項】  
・「清掃負担の公平」による負担の調整額の確定  
・補助107号線道路整備工事の期間変更  
・荒川自然公園の休園日の変更  
・荒川自然公園エレベーター整備計画の見直し  
・南千住第四児童遊園の使用許可  
11月17日  
・幹部職員の発令  
【所管調査事項】  
・東日暮里三丁目地区都心共同住宅供給事業の実施  
12月4日  
【所管調査事項】  
・グラウンドステージ町屋における耐震改修工事の竣工  
（陳情審査）1件  
12月14日～16日  
・行政視察を実施（大阪府大阪市「大阪市防災力強化マシソン認定制度」、大阪府豊中市「豊中市工場」、大阪府豊中市「豊中市地球温暖化防止地域計画『チャレンジ70プラン』」、岡山県岡山市「岡山市東部リサイクルプラザ」）  
1月14日

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正

【陳情審査】1件  
2月4日  
・第1回定例会提出予定案件  
・区内視察調査（特別区道荒57号線の「仮称・ライフ南千住店」出店予定地付近）  
2月23日  
【議案審査】7件  
3月3日  
【議案審査】1件  
【所管調査事項】  
・区と区民による電気自動車の共同利用の実施  
・荒川区景観計画の策定  
・荒川区バリアフリー基本構想の策定  
・都市計画道路補助第331号線の事業認可申請  
・荒川遊園大型遊具の安全総点検の結果  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正  
3月12日  
【所管調査事項】  
・あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正



南千住区民事務所・南千住駅前ふれあい館

### 拠点開発調査特別委員会

10月15日～16日  
行政視察を実施（山形県山形市「山形駅周辺整備事業」、山形市「山形駅周辺の管理運営」）  
1月28日  
・区内視察調査（南千住西口再開発ビル等）  
・区内視察の集約  
・行政視察の集約

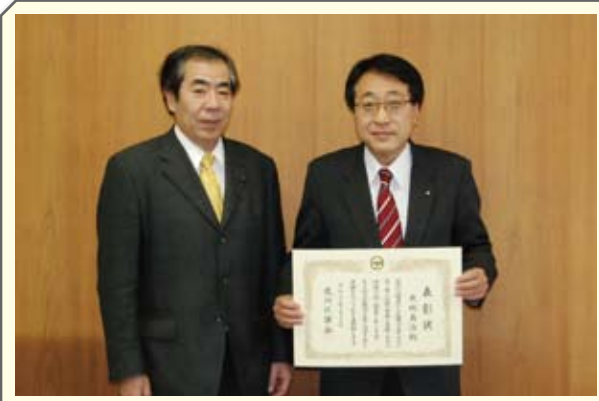
### 特別委員会

震災対策・危機管理調査特別委員会  
10月30日  
【調査研究事項】  
・新型インフルエンザワクチン接種に伴う実費負担軽減事業  
1月18日～19日  
行政視察を実施（福井県敦賀市「敦賀市防災センターの管理運営」、地域WiMAXの防災への利活用）  
1月22日  
【調査研究事項】

### 観光・文化推進調査特別委員会

11月11日  
【調査研究事項】  
・荒川区高齢者クラブ連合会と済州市老人会との交流  
1月25日  
・区内視察調査（観光ボランティアガイドの案内による区内視察）





永年在職議員表彰

北城貞治議員が、平成 22 年 3 月 17 日の本会議において、区議会の決議により永年在職議員として表彰されました。



写真右から秋野三誠、弘義、小坂真三、勝副、茂木、正仁、同副委員長

「さらなる議会改革の方策について」の第一次答申が提出されました

採択した請願・陳情
・食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情

意見書提出
本定例会では5件を可決し、関係機関に提出しました。

議案の審議結果

平成 22 年第 1 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席

太字は討論のあったことを示す

Table with columns for party names and results for 36 proposals, including committee and council proposals.

Table with columns for party names and results for 24 proposals, including council proposals.